

平成30年1月11日

各 位

会 社 名 TONE株式会社
代表者名 取締役社長 松村 昌造
(コード 5967 東証第二部)
問合せ先 管理部長 井上 昌良
(TEL 06-6649-5967)

平成30年5月期 第2四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成29年7月13日に公表いたしました平成30年5月期第2四半期累計期間（平成29年6月1日～平成29年11月30日）の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成30年5月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績の差異（平成29年6月1日～平成29年11月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,080	560	580	350	円 銭 169.84
今回修正予想 (B)	2,609	452	476	344	167.41
増 減 額 (B-A)	△470	△107	△103	△5	—
増 減 率 (%)	△15.3	△19.2	△17.9	△1.4	—
(ご参考)前第2四半期実績 (平成29年5月期第2四半期)	2,647	441	457	282	136.95

(注) 当社は、平成29年12月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、第2四半期（累計）の「1株当たりの四半期純利益」を算定しております。

2. 差異の生じた理由

売上高につきましては、「TONEブランド戦略」を背景に、新製品群の積極的な販売や購買意欲を高める様々な企画・販売を展開し、売上高伸長に懸命な努力を行いましたものの、海外における売上の鈍化が依然として解消されない中、建築土木関連における計画のずれ込みなども重なり、前回予想数値を下回ることとなりました。

また、利益面におきましては、高付加価値製品群の販売鈍化の影響により、営業利益および経常利益ならびに親会社株主に帰属する四半期純利益について前回予想数値を下回ることとなりました。

なお、通期（平成29年6月1日～平成30年5月31日）の業績予想につきましては、現時点では変更ありません。

以 上